

リスクマネジメント論	2年・前期	1単位 45時間	講師 木部 和枝
科目カテゴリー	社会のニーズと 看護の発展	科目ナンバリング	34111002

1. 授業のねらい・概要

医療安全活動推進の基本的な考え方, ヒューマンエラーとヒューマンエラー防止策や危険予知活動, インシデントレポートの活用など実習場面や看護の現場で活用できる内容を学習する。

2. 学修の到達目標

1. 医療安全についての概要を知り医療安全を学ぶ意味を説明できる。(D-2)
2. 医療現場で起こりやすい医療事故について危険を予知し, 対策を立案できる。(D-2)
3. 医療事故発生のメカニズムと事故後の対応について説明できる。(D-2)
4. 医療事故防止のためのコミュニケーションスキルについて説明できる。(D-2)
5. 国際的な医療安全の動向や医療安全のマネジメントについて理解できる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に授業を進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして, 事前学習型授業, グループワーク, リフレクション, レポートを用いる。

【ICT活用の実施の有無】

ICT活用の実施: Classroom等による学習課題の提示, メールによる質問等の受付, WEB配信「ナースチャンネル」, DVDの活用等。

4. 授業計画 (講義・演習)

回	授業内容	授業形態	事前事後学修 (学修課題)	担当
1	医療安全の歴史と医療, 看護を取り巻く状況	講義 演習	予習: 医療安全の歴史や医療安全の主な対策について調べまとめる 復習: 医療や看護における医療安全対策についてまとめる	木部和枝
2	医療安全に関する最近の動向・考え方	講義 演習	予習: 近年の医療安全に関する動向について調べまとめる 復習: 近年の医療安全推進の方策についてまとめる	木部
3	医療安全のマネジメント	講義 演習	予習: 医療事故・インシデントレポートについて調べまとめる 復習: 医療事故・インシデントレポートの分析と活用についてまとめる	木部
4	実習における医療安全とは	講義 演習	予習: 自身の経験でヒヤリハットしたことを1例まとめる 復習: 事例を振り返り, 再発予防策をまとめる	木部
5	ヒューマンエラー	講義 演習	予習: ヒューマンエラーの事例を調べまとめる	木部

			復習：ヒューマンエラー防止策についてまとめる	
6	ヒューマンエラー防止策 演習・グループワーク 医療事故と体調管理 健康観察の重要性：健康 KY	講義 演習	予習：体調管理の方法について調べまとめる 復習：健康 KY について手順と効果をまとめる	木部
7	ヒューマンエラー防止策 危険予知訓練（以下、KYT） 基礎4ラウンド法説明 指差し呼称の効果とやり方の説明	講義 演習	予習：KYT 基礎4ラウンド法について調べまとめる 復習：KYT 基礎4ラウンド法の手順をまとめる	木部
8	ヒューマンエラー防止策 演習・グループワーク KYT 基礎4ラウンド法① 環境整備時のリスク事例	講義 演習	予習：自身の経験でヒヤリハットしたことを1例まとめる 復習：KYT 基礎4ラウンド法の手順をまとめる	木部
9	ヒューマンエラー防止策 演習・グループワーク KYT 基礎4ラウンド法② 清拭時のリスク事例	講義 演習	予習：前回の事例を4ラウンドまで振り返る 復習：今日の事例を振り返り、再発予防策をまとめる	木部
10	ヒューマンエラー防止策 演習・グループワーク KYT 基礎4ラウンド法③ バイタル測定時のリスク事例	講義 演習	予習：前回の事例を4ラウンドまで振り返る 復習：今日の事例を振り返り、再発予防策をまとめる	木部
11	ヒューマンエラー防止策 演習・グループワーク 問題解決4ラウンド法① 食事介助・車椅子移乗時のリスク事例	講義 演習	予習：前回の事例を4ラウンドまで振り返る 復習：今日の事例を振り返り、再発予防策をまとめる	木部
12	ヒューマンエラー防止策 演習・グループワーク 問題解決4ラウンド法② 車椅子でのトイレ介助時のリスク管理	講義 演習	予習：前回の事例を4ラウンドまで振り返る 復習：今日の事例を振り返り、再発予防策をまとめる	木部
13	ヒューマンエラー防止策 医療事故の種類と事故後の対応	講義 演習	予習：前回の事例を4ラウンドまで振り返る 復習：今日の事例を振り返り、事故後の対応についてまとめる	木部
14	国家試験問題とリスクマネジメント	講義 演習	予習：リスクマネジメント関連の国家試験問題を3例調べまとめる 復習：今日の問題を振り返りまとめる	木部
15	リスクマネジメント論まとめ	講義 演習	予習：リスクマネジメント関連の国家試験問題を3例調べまとめる 復習：リスクマネジメント論の学修の到達目標に沿って自己評価する 復習：今日の問題を振り返りまとめる	木部

*5回目、10回目、14回目の復習は、課題として提出すること。

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，課題30%で総合的に評価する。合格基準は60%以上とする。合格基準に満たない（60%未満）場合は、単位認定できない。

定期試験の出題範囲及び出題方法等は、講義内にて口頭で説明する。

課題についての詳細、提出期限、提出方法（場所）は第1回講義内で紙面にて提示する。

評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：小林美亜編集 医療安全 患者の安全を守る基礎力・臨床力 Gakken

参考文献：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画で指定された範囲について，最低 90 分の予習および最低 45 分の授業内容の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

日常的に新聞を読みニュースに触れるように心がけ，図書館を利用し文献や専門雑誌に目を通すこと。

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。

講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックする。内容の不備なものは再提出を求める。

定期試験の解答は試験後口頭または Classroom でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

災害看護実習の先修科目となっている。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護管理者としての経験を活かして講義・演習を行う。